

### II 東京大学放射光連携研究機構 II

## 「物質科学ビームライン」完成披露式典と祝賀会

東京大学放射光連携研究機構(尾嶋正治機構長)は10月9日、兵庫県佐用町のSPRING-8中央管理棟・上坪講堂で「物質科学ビームライン」完成披露式典を開催した。同機構が、既存施設の高輝度放射光を利用した先端的研究の展開を目指して、世界最高水準の軟X線アンジュレーターと放射光利用実験設備を備えた「東京大学アウトステーション・物質科学ビームライン」をSPRING-8に建設・整備を

進めてきていたもので、この10月以降2GeV(2keV)の高輝度放射光を利用した物質科学研究がスタートできる見通しとなりこれを記念して開催したもの。尾嶋機構長の挨拶とビームラインの概要説明の後、倉持文科省審議官、井戸兵庫県知事、白川JASRI理事長、藤嶋理化研播磨研究所長らの来賓が紹介された。来賓と機構長によるテープカットの後、会場を移して祝賀会が開催された。



ビームライン概要説明の尾嶋機構長



挨拶する井戸兵庫県知事



来賓と機構長によるテープカット

### II 国立天文台 II

## すばる望遠鏡10周年記念シンポジウム・パーティ

国立天文台は、ハワイ島マウナケア山頂に開設したすばる望遠鏡が今年で観測開始から10周年を迎えることから、読売新聞社と共催、富士通株式会社及び三菱電機株式会社の協賛で、記念シンポジウムならびに記念パーティを10月5日に開催した。シンポジウムは一

橋記念講堂で行われ、約450名(一般応募約300名、招待者約150名)の参加者があった。観山台長の開会挨拶の後、渡部潤一(天文情報センター准教授等4名の基調講演のあと)、立花隆氏(ジャーナリスト)、村山斉氏(東京大学数物連携宇宙研究機構長)、観山台長のパネリストと保坂直紀(読売新聞社科学部次長)によるパネルディスカッションが行われ、すばる望遠鏡のこれまでの成果、今後の展望及び次世代大型望遠鏡計画などについて活発な議論が展開された。その後、会場を東京ドームホテルに移し、記念パーティを開催。文部科学省から泉科学技術・学術政策局長、勝野学術機関課長ら、他に政界から約180名の招待者が参加した。



パネルディスカッションのもよう。左から立花氏、村山氏、観山台長



パーティで歓談する泉局長(中央左)と小平元台長(中央右)ら

### II 北大グローバルCOEプログラム II

## 「境界研究の拠点形成」研究拠点開設記念セミナー